



Cisco ISE-PIC のインストール

- [ISO イメージのダウンロードと実行 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco ISE のセットアッププログラムの実行 \(2 ページ\)](#)
- [インストールプロセスの確認 \(6 ページ\)](#)

ISO イメージのダウンロードと実行

始める前に

サポートされているアプライアンスに Cisco ISE-PIC をインストールする前に、次のことを確認します。

1. 仮想マシンを正しく作成し、アクセスした。
2. 次のすべてのファームウェアおよび仮想マシンの要件に準拠している。
 - 仮想マシン：ISE-PIC をインストールする前に、OVA テンプレートをインストールし、仮想マシンサーバーが正しく設定されていることを確認します。
 - Linux KVM：すべての仮想化テクノロジーとハードウェア要件が満たされていることを確認します。

要件の詳細については、『[Cisco ISE-PIC Administrator Guide](#)』、『[Cisco Secure Network Server Data Sheet](#)』、および『[Cisco Identity Services Engine Installation Guide](#)』を参照してください。

ステップ 1 ISE-PIC をインストールする仮想マシンを起動します。

- a) CD/DVD を ISO イメージにマッピングします。次のような画面が表示されます。次のメッセージとインストールメニューが表示されます。

例：

```
Please wait, preparing to  
boot.....  
.....
```

次のオプションが表示されます。

```
[1] Cisco ISE-PIC Installation (Keyboard/Monitor)
[2] Cisco ISE-PIC Installation (Serial Console)
[3] System Utilities (Keyboard/Monitor)
[4] System Utilities (Serial Console)
```

ステップ 2 シリアルコンソールを使用して Cisco ISE-PIC をインストールするには、ブートプロンプトで **2** および Enter キーを押します。

次のメッセージが表示されます。

```
*****
Please type 'setup' to configure the appliance
*****
```

ステップ 3 プロンプトで、**setup** と入力し、セットアッププログラムを起動します。セットアッププログラムパラメータの詳細については、「[#unique_9](#)」を参照してください。

ステップ 4 セットアップモードでネットワーク設定パラメータを入力すると、アプライアンスが自動的に再起動し、シェルプロンプトモードに戻ります。

ステップ 5 シェルプロンプトモードを終了します。アプライアンスが起動します。

ステップ 6 「[インストールプロセスの確認 \(6 ページ\)](#)」に進みます。

Cisco ISE のセットアッププログラムの実行

ここでは、ISE-PIC サーバーを設定するためのセットアッププロセスについて説明します。

セットアッププログラムでは、必要なパラメータの入力を求める、対話型のコマンドラインインターフェイス (CLI) が起動されます。管理者は、コンソールまたはダム端末とセットアッププログラムを使用して、ISE-PIC サーバーの初期ネットワークを設定し、初期管理者資格情報を設定します。このセットアッププロセスは一度だけ実行する設定作業です。



(注) Active Directory (AD) と統合する場合は、ISE 専用で作成された専用サイトから IP アドレスとサブネットアドレスを使用することをお勧めします。インストールと設定を行う前に、AD を担当する組織のスタッフに相談し、ISE ノードの関連する IP アドレスとサブネットアドレスを取得します。



(注) システムが不安定になる可能性があるため、Cisco ISE のオフラインインストールの試行は推奨しません。Cisco ISE のインストールスクリプトをオフラインで実行すると、次のエラーが表示されます。

NTPサーバーとの同期に失敗しました。時刻が正しくないと、再インストールされるまで、システムは使用できなくなる可能性があります。(Sync with NTP server failed' Incorrect time could render the system unusable until it is re-installed.) 再試行? はい/いいえ [はい] (Y/N [Y]:)

[はい (Yes)]を選択してインストールを続けます。NTPサーバーとの同期を再試行するには、[いいえ (No)]を選択します。

インストールスクリプトの実行中に、NTPサーバーとDNSサーバーの両方とのネットワーク接続を確立することを推奨します。

セットアッププログラムを実行するには、次の手順を実行します。

ステップ1 インストール用に指定されているアプライアンスをオンにします。

次のセットアッププロンプトが表示されます。

```
Please type 'setup' to configure the appliance
localhost login:
```

ステップ2 ログインプロンプトで **setup** と入力し、Enter を押します。

コンソールにパラメータのセットが表示されます。次の表の説明に従って、パラメータ値を入力する必要があります。

(注) IPv6アドレスをもつドメインネームサーバーまたはNTPサーバーを追加する場合は、ISEのeth0インターフェイスをIPv6アドレスで静的に設定する必要があります。

表 1: Cisco ISE-PIC セットアッププログラムパラメータ

プロンプト	説明	例
Hostname	19文字以下にする必要があります。有効な文字には、英数字 (A-Z、a-z、0-9)、およびハイフン (-) があります。最初の文字は文字である必要があります。	isebeta1
(eth0) Ethernet interface address	ギガビットイーサネット0 (eth0) インターフェイスの有効なIPv4アドレスまたはグローバルIPv6アドレスでなければなりません。	10.12.13.14/2001: 420: 54ff: 4:: 458: 121: 119

プロンプト	説明	例
Netmask	有効な IPv4 または IPv6 のネットマスクでなければなりません。	255.255.255.0/2001: 420: 54ff: 4:: 458: 121: 119/122
Default gateway	デフォルトゲートウェイの有効な IPv4 アドレスまたはグローバル IPv6 アドレスでなければなりません。	10.12.13.1/2001: 420: 54ff: 4:: 458: 1
DNS domain name	IP アドレスは入力できません。有効な文字には、ASCII 文字、任意の数字、ハイフン (-)、およびピリオド (.) が含まれます。	example.com
Primary name server	プライマリ ネーム サーバーの有効な IPv4 アドレスまたはグローバル IPv6 アドレスでなければなりません。	10.15.20.25 /2001: 420: 54ff: 4:: 458: 118
Add/Edit another name server	プライマリ ネーム サーバーの有効な IPv4 アドレスまたはグローバル IPv6 アドレスでなければなりません。	(オプション) 複数のネームサーバーを設定できます。これを行うには、 y を入力して続行します。
Primary NTP server	有効なネットワーク タイム プロトコル (NTP) サーバーの IPv4 アドレスまたはグローバル IPv6 アドレスまたはホスト名でなければなりません。 (注) プライマリ NTP サーバーがアクセス可能であることを確認してください。	clock.nist.gov / 10.15.20.25 / 2001:420:54ff:4::458:117
Add/Edit another NTP server	有効な NTP ドメインでなければなりません。	(オプション) 複数の NTP サーバーを設定できます。これを行うには、 y を入力して続行します。

プロンプト	説明	例
System Time Zone	<p>有効な時間帯でなければなりません。たとえば、太平洋標準時 (PST) では、システム時間帯は PST8PDT です (つまり、協定世界時 (UTC) から 8 時間を差し引いた時間)。</p> <p>(注) システム時刻とタイムゾーンが CIMC または ハイパーバイザホストの OS 時刻およびタイムゾーンと一致していることを確認します。タイムゾーン間に不一致がある場合、システムパフォーマンスに影響を受ける可能性があります。</p> <p>サポートされているタイムゾーンのすべてのリストについては、Cisco ISE-PIC CLI から show timezones コマンドを実行できます。</p>	UTC (デフォルト)
Username	Cisco ISE-PIC システムへの CLI アクセスに使用される管理者ユーザー名を特定します。デフォルト (admin) を使用しない場合は、新しいユーザー名を作成する必要があります。ユーザー名は、3 ~ 8 文字の長さで、有効な英数字 (A ~ Z、a ~ z、または 0 ~ 9) で構成される必要があります。	admin (デフォルト)

プロンプト	説明	例
Password	Cisco ISE-PIC システムへの CLI アクセスに使用される管理者パスワードを特定します。デフォルトパスワードは存在しないため、続行するにはパスワードを作成する必要があります。パスワードの長さは 6 文字以上で、少なくとも 1 つの小文字 (a-z)、1 つの大文字 (A-Z)、および 1 つの数字 (0-9) を含める必要があります。	MyIseYPass2

(注) CLI でインストール中またはインストール後に管理者のパスワードを作成する際に、パスワードの最後の文字の場合を除いて文字「\$」を使わないでください。この文字が最初または後続の文字にあると、パスワードは受け入れられますが、CLI へのログインには使用できません。

誤ってこのようなパスワードを作成した場合は、コンソールにログインし、CLI コマンドを使用するか、ISE CD または ISO ファイルを取得して、パスワードをリセットします。ISO ファイルを使用してパスワードをリセットする手順は、次のドキュメントで説明されています。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/docs/security/identity-services-engine/200568-ISE-Password-Recovery-Mechanisms.html>

セットアッププログラムを実行すると、システムが自動的に再起動します。

これで、セットアッププロセスで設定したユーザー名とパスワードを使用して Cisco ISE-PIC にログインできるようになります。

インストール プロセスの確認

インストールプロセスが正しく完了したことを確認するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** インストール後にシステムが自動的に起動したら、ログインプロンプトでセットアップ時に設定したユーザー名を入力し、**Enter** を押します。
- ステップ 2** パスワードプロンプトで、セットアップ時に設定したパスワードを入力し、**Enter** を押します。
- ステップ 3** アプリケーションが適切にインストールされていることを確認するために、**show application** コマンドを入力し、**Enter** を押します。
- ステップ 4** **show application status ise** コマンドを入力して ISE-PIC プロセスの状態を確認し、**Enter** を押します。次のメッセージが表示されます。

```
ise-server/admin# show application status ise
```

```
ISE PROCESS NAME                STATE                PROCESS ID
-----
```

Database Listener	running	5072
Database Server	running	90 PROCESSES
Application Server	running	9117
AD Connector	running	14187
Certificate Authority Service	running	9947
M&T Session Database	running	6408
M&T Log Collector	running	10166
M&T Log Processor	running	10057
pxGrid Infrastructure Service	running	22303
pxGrid Publisher Subscriber Service	running	22575
pxGrid Connection Manager	running	22516
pxGrid Controller	running	22625
PassiveID WMI Service	running	10498
PassiveID Syslog Service	running	11483
PassiveID API Service	running	12176
PassiveID Agent Service	running	13046
PassiveID Endpoint Service	running	13557
PassiveID SPAN Service	running	13993
snsbu-c220-ORX/admin#		

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。